

「令和6年度第1回 地域連携推進会議」議事録

1. 開催状況

事業所名	グループホームややま		
所在地	グループホームややま	中津市大字是則169-1	
	グループホームややまⅡ	中津市大字大悟法429-5	
	グループホーム大貞	中津市大字大貞299-8	
	グループホーム福永	中津市大字高瀬255	
開催日時	令和 7 年 2 月 18 日 火 曜日 14:40 ~ 15:40		
司会・記録	サービス管理責任者	連絡先	0979-24-1637
出席者内訳	利用者	2名	入所者
	利用者家族	1名	保護者会
	地域の関係者	1名	自治会長
	福祉に知見のある方	1名	訪問介護事業所管理者
	経営に知見のある方	名	同上
	市町村担当者等	1名	福祉支援課 障害福祉係主任
	その他	名	
	施設職員	2名	法人管理者、サービス管理責任者

2. 登録者の状況 (2月1日 現在)

定員数	17	名
入所者数	14	名

女性	7	名	男性	7	名	合計	14	名	区外利用者	名
----	---	---	----	---	---	----	----	---	-------	---

障害支援区分	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
	12名	0名	1名	1名	0名	0名	0名

3. 議題及び会議内容

<p>1, グループホームややま → グループホームややまⅡ → グループホーム大貞 → グループホーム福永の順に、施設見学を行い ややま園にて会議を開催。議案は下記の通り</p> <p>(1) 法人管理者挨拶 (2) 構成員の紹介 (3) 利用者について</p> <p>(4) 職員(世話人)について (5) 施設について (6) 意見交換と評価</p>
--

4. 議題報告

- (1) 法人管理者挨拶
法人管理者より、地域連携推進協議会の趣旨説明がなされ、法人の地域貢献活動の取り組みを案内し、地域に開けた運営を心掛けていることが伝えられた。そのなかで、ホームにおいても地域活動に参加し交流を図っていると聞いている。本会議を開催し利用者の皆様が地域で良い生活ができるように、構成員の方々の視点から忌憚のない意見をいただきたいと挨拶が行われた。
- (2) 構成員の紹介
サービス管理責任者より、構成員の紹介を行った。
- (3) 利用者について
入所者の障害特性および、日常生活の様子や人間関係について報告を行った。家事全般を世話人の助言をもらいながら、自立に向けて生活を送っている。日中活動は、就労継続支援B型を利用し元気に登園している。休みの時は、買い物へ出かけたりと好きなことをして過ごしている。
- (4) 職員(世話人)について
職員(世話人)の役割や、防災・感染症の取り組みについて説明を行った。ホームの所在地は、グループホーム福永意外は、洪水・津波・土砂災害等の災害リスクに該当しない地域である。被災時の避難所は、訓練などを行い周知している。グループホーム福永は、洪水リスクのある地域のため年一回の要配慮者利用施設訓練を実施し市役所へ実施報告を行っている。
- (5) 施設について
各グループホームの定員数と入所者数について説明を行い、地域との交流状況について報告を行った。

5. 意見交換及び評価

- ・ 利用者に対して「困りごと」がないかの質問があった
 - 利用者同士で、買い物へ行くメンバーを巡ってのトラブルが多いこと
 - 食事の好き嫌いがある利用者が、文句を言うことがある
- ・ 利用者に対して「好きなこと」について質問があった
 - 推しのグループがあること、動物のテレビ番組が好きでよく観ている
 - 旅が好きで、いつか電車で旅してみたい
- ・ 買い物は、徒歩や自転車を使用。バスを使用することもできる
- ・ 自立支援協議会の活動にも積極的に参加しており、開けた施設と感じた
- ・ 利用者と世話人の関係性も、話しのなかで良好と感じる
- ・ 住宅地のなかで地域との交流もあり、且つホームの園庭では野菜づくりもされ良い環境と感じた

6. 要望、意見及び助言

- ・ ホームの生活のなかで、利用者の方が目標を持てるとより良い
- ・ コロナ禍で活動制限があったが、徐々に緩和されるなかで「好きなこと」が実現できるように生活を頑張ってもらいたい
- ・ 施設は、引き続き地域に開けた運営を行い利用者の方が望む生活をサポートしてください